

履修上の注意・授業科目配当表・卒業要件

1. <情報社会学科> 履修上の注意

2019 入学者用

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないよう留意すること。

1. 本学科を卒業するためには、学部規程別表Ⅰ「授業科目表」に記載されている科目のうちから、4年次終了までに、教養科目 44 単位以上、専門科目 80 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。このうち平成 28 年度以降入学生については必修 32 単位、選択必修 6 単位の修得が必要である。
2. 履修は別表「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、これにとらわれずに自分の所属より下の年次に配当された科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の情報社会総合演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1 年間に履修登録できる単位の上限は 48 単位である。本学科では 2 年次から 3 年次、3 年次から 4 年次に進級するために必要な単位数を定めている。2 年次終了までに 28 単位、3 年次終了までに 76 単位を修得していなければ進級できない。進級要件を満たし、4 年間で卒業するためには、各年次に 36 単位程度を修得し、4 年次では情報社会総合演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが重要である。
4. 1～2 年次に配当されている教養科目は、主として、情報、人文科学、社会科学、自然科学、外国語の 5 つの学問分野から構成されている。また、これとは別に大学卒業後の進路に対する支援を行う目的でキャリア・デザイン科目が設置されている。1～2 年次には、学生はなるべく広い分野にわたる科目を履修することによって視野を広げていくことが望ましい。
5. 専攻別の選択必修科目に関する注意
経営システム専攻の学生は、教養科目のコンピュータ概論Ⅰ、コンピュータ概論Ⅱ、法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論の 6 科目のうち、3 科目 (6 単位) 以上を履修しなければならない。
メディア文化専攻の学生は、教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、中国の言語と文化の 4 科目 (A 群とする) から 1 科目、音楽音響学概論、芸術論、メディア論の 3 科目 (B 群とする) から 1 科目、A 群または B 群から別の 1 科目、合わせて 3 科目 (6 単位) 以上を履修しなければならない。
6. 専門科目には情報社会専門科目と心理専門科目がある。情報社会学科の学生は情報社会専門科目を中心に学ぶことになるが、心理専門科目も 20 単位までは卒業に必要な単位として認定される。心理専門科目の配当年次については心理学の「授業科目配当表」を参照すること。

7. 3・4年次の演習に関する注意

3年次の情報社会一般演習は週1コマ、4年次の情報社会総合演習は週2コマ行われる。4年次には、指導教員と相談しながらテーマを定め、卒業研究を行う。原則として学生は2年間を通して同一の指導教員の演習に所属することになるので、3年次の演習の選択は慎重に行わなければならない。

8. 検定試験による単位認定については、本便覧中の「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を参照すること。

2. 《情報社会学科》 2019年度入学者用授業科目配当表 経営システム専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語 I	1	◎ 英語演習 I	1	◎ 英語 2	1	◎ 英語演習 2	1
	○ コンピュータ概論 I	2	○ コンピュータ概論 II	2	TOEIC I	1	TOEIC II	1
	○ 法学概論	2	○ 経済学概論	2	中国の言語と文化	2	フランスの言語と文化	2
	○ 仏教精神 I	2	○ 経営学概論	2	ドイツの言語と文化	2	英語圏文化論	2
	音楽音響学概論	2	○ 仏教精神 II	2	○ 会計学概論	2	メディア論	2
	文化人類学	2	○ 哲学概論	2	芸術論	2	簿記演習	2
	身近な物理	2	○ 世界の宗教と歴史	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2
	宇宙の科学	2	○ 心理学入門	2	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2
	教育と社会	2	○ 20世紀の世界史	2	脳と行動	2	浄土教の歴史と文化	2
	ボランテアの研究	2	○ グローバル社会と地誌	2	科学技術史	2	社会学概論	2
	自己理解の心理学	2	○ 化学と生活	2	○ 日本国憲法	2	数理基礎	2
	地域学	2	○ ボランディアの研究	2	日本史概論	2		
	体育実技 I	1	○ 政治学概論	2	東洋史概論	2		
	※ 日本語 I	2	○ 生命の仕組み	2	西洋史概論	2		
	※ 日本語 II	2	○ 体育実技 II	1	○ 人体の構造と機能及び疾病	2		
	※ 日本事情 I	2	* コミュニケーション演習	1				
			※ 日本語 III	2				
			※ 日本語 IV	2				
			※ 日本事情 II	2				
		計	30	計	35	計	28	計
デジタルキャリア開発科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	インターンシップ	2	インターンシップ	2
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー	2	人生と職業	2		
	異文化コミュニケーション(海外研修)	2			総合情報演習	2		
	計	6	計	4	計	6	計	2
	計	36	計	39	計	34	計	22
専門科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2
	◎ 情報学概論	2	情報の分析と活用	2	企業と業界の分析 I	2	企業と業界の分析 II	2
	プログラミング入門	2	プログラミング I	2	民法A	2	民法B	2
	デジタルデザイン基礎演習	2	情報と職業	2	現代経済論	2	行政法	2
	音楽とメディアの歴史	2	平面構成演習	2	データ解析法	2	行政学	2
	音楽情報演習 I	2	ネットワーク社会論	2	プログラミング II	2	国際法	2
	映像と音楽	2	テクノロジーと音楽	2	情報ネットワーク論	2	情報関連法	2
			音楽情報演習 II	2	経営情報論	2	情報セキュリティ	2
			コンピュータ画像処理	2	経営情報システム	2	テキスト情報処理	2
			Webデザイン基礎演習	2	情報システム論	2	日本史特講	2
					現代社会と宗教	2	東洋史特講	2
					アート批評論 I	2	西洋史特講	2
					デジタルデザイン応用演習	2	現代社会と倫理	2
					Webデザイン応用演習	2	アート批評論 II	2
					深層心理学	2	アート・コミュニケーション論	2
					デジタルサウンド演習 I	2	映像文化論	2
					音楽文化論	2	空間構成演習 I	2
					音響環境論 I	2	空間構成演習 II	2
					映像・音楽の総合表現と人間	2	3DCG演習	2
					情報社会特講 I	2	デジタル映像表現	2
						音響環境論 II	2	
						デジタルサウンド演習 II	2	
						情報社会特講 II	2	
						情報処理心理学	2	
	計	14	計	20	計	40	計	48

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習Iに代えて

*印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

教養科目の法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論、

コンピュータ概論 I・II の6科目のうち、3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3学年				4学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目 キャリアデザイン科目	◎ 英語3 ブラクティカル・イングリッシュ I ビジネス英語入門	1 1 1	◎ 英語演習3 ブラクティカル・イングリッシュ II 英語記事・論文読解	1 1 1				
	計	3	計	3	計	0	計	0
	働くことの科学と実践 I キャリアと自立	2 2	働くことの科学と実践 II 総合教養演習 現代社会理解	2 2 2				
	計	4	計	6	計	0	計	0
	計	7	計	9	計	0	計	0
専門科目 情報社会専門科目	◎ 情報社会一般演習 I 経営管理論 知的財産権法 財務管理論 人文地理学 マルチメディア論 映像環境論 映像制作演習 デザイン演習 サウンド・プログラミング演習 ビジネス関連法 システム管理 企業組織における人間行動 情報社会特講Ⅲ 情報社会特講 V	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会一般演習 II 現代経済史 法学応用演習 知識管理論 マーケティング論 e-ビジネス論 ネットワーク管理 国際関係論 自然地理学 哲学の源流 地誌学 情報メディア演習 データベース論 情報社会特講Ⅳ 情報社会特講Ⅵ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会総合演習 I ◎ 情報社会総合演習 II	4		4
	計	30	計	30	計	4	計	4

【経営システム専攻】

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	情報社会総合演習 II (再)	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照せよ。

(注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

2. ≪情報社会学科≫ 2019年度入学者用授業科目配当表 メディア文化専攻

区分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教養科目	◎ 英語1	1	◎ 英語演習1	1	◎ 英語2	1	◎ 英語演習2	1	
	コンピュータ概論 I	2	コンピュータ概論 II	2	TOEIC I	1	TOEIC II	1	
	法学概論	2	経済学概論	2	○ 中国の言語と文化	2	○ フランスの言語と文化	2	
	仏教精神 I	2	経営学概論	2	○ ドイツの言語と文化	2	○ 英語圏文化論	2	
	○ 音楽音響学概論	2	仏教精神 II	2	○ 会計学概論	2	○ メディア論	2	
	文化人類学	2	哲学概論	2	○ 芸術論	2	○ 備記演習	2	
	身近な物理	2	世界の宗教と歴史	2	○ 仏教の歴史と思想	2	○ スポーツ文化論	2	
	宇宙の科学	2	心理学入門	2	ジェンダー論	2	○ 20世紀の日本史	2	
	教育と社会	2	20世紀の世界史	2	脳と行動	2	○ 浄土教の歴史と文化	2	
	ポランディアの研究	2	グローバル社会と地誌	2	科学技術史	2	○ 社会学概論	2	
	自己理解の心理学	2	化学と生活	2	日本国憲法	2	○ 数理基礎	2	
	地域学	2	ポランディアの研究	2	日本史概論	2			
	体育実技 I	1	政治学概論	2	○ 東洋史概論	2			
	※ 日本語 I	2	○ 生命の仕組み	2	○ 西洋史概論	2			
	※ 日本語 II	2	○ 体育実技 II	1	○ 人体の構造と機能及び疾病	2			
※ 日本事情 I	2	* コミュニケーション演習	1						
		※ 日本語 III	2						
		※ 日本語 IV	2						
		※ 日本事情 II	2						
	計	30	計	35	計	28	計	20	
デジタルメディア科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	インターンシップ	2	インターンシップ	2	
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー	2	人生と職業	2			
	異文化コミュニケーション(海外研修)	2			総合情報演習	2			
	計	6	計	4	計	6	計	2	
	計	36	計	39	計	34	計	22	
情報社会専門科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2	
	◎ 情報学概論	2	情報の分析と活用	2	企業と業界の分析 I	2	企業と業界の分析 II	2	
	プログラミング入門	2	プログラミング I	2	民法A	2	民法B	2	
	デジタルデザイン基礎演習	2	情報と職業	2	現代経済論	2	行政法	2	
	音楽とメディアの歴史	2	平面構成演習	2	データ解析法	2	行政学	2	
	音楽情報演習 I	2	ネットワーク社会論	2	◎ プロگرامming II	2	国際法	2	
	映像と音楽	2	テクノロジーと音楽	2	情報ネットワーク論	2	情報関連法	2	
			音楽情報演習 II	2	経営情報論	2	情報セキュリティ	2	
			コンピュータ画像処理	2	経営情報システム	2	テキスト情報処理	2	
			Webデザイン基礎演習	2	情報システム論	2	日本史特講	2	
					現代社会と宗教	2	東洋史特講	2	
					アート批評論 I	2	西洋史特講	2	
					デジタルデザイン応用演習	2	現代社会と倫理	2	
					Webデザイン応用演習	2	アート批評論 II	2	
					深層心理学	2	アート・コミュニケーション論	2	
					デジタルサウンド演習 I	2	映像文化論	2	
					音楽文化論	2	空間構成演習 I	2	
					音響環境論 I	2	空間構成演習 II	2	
					映像・音楽の総合表現と人間	2	3DCG演習	2	
					情報社会特講 I	2	デジタル映像表現	2	
							音響環境論 II	2	
							デジタルサウンド演習 II	2	
							情報社会特講 II	2	
							情報処理心理学	2	
		計	14	計	20	計	40	計	48

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習1に代えて

*印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、中国の言語と文化の4科目(A群とする)から1科目、音楽音響学概論、芸術論、メディア論の3科目(B群とする)から1科目、A群またはB群から別の1科目、合わせて3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3学年				4学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目 キャリアデザイン科目	◎ 英語3 ブラクティカル・イングリッシュⅠ ビジネス英語入門	1 1 1	◎ 英語演習3 ブラクティカル・イングリッシュⅡ 英語記事・論文読解	1 1 1				
	計	3	計	3	計	0	計	0
	働くことの科学と実践Ⅰ キャリアと自立	2 2	働くことの科学と実践Ⅱ 総合教養演習 現代社会理解	2 2 2				
	計	4	計	6	計	0	計	0
	計	7	計	9	計	0	計	0
専門科目 情報社会専門科目	◎ 情報社会一般演習Ⅰ 経営管理論 知的財産権法 財務管理論 人文地理学 マルチメディア論 映像環境論 映像制作演習 デザイン演習 サウンド・プログラミング演習 ビジネス関連法 システム管理 企業組織における人間行動 情報社会特講Ⅲ 情報社会特講Ⅴ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会一般演習Ⅱ 現代経済史 法字応用演習 知識管理論 マーケティング論 e-ビジネス論 ネットワーク管理 国際関係論 自然地理学 哲学の源流 地誌学 情報メディア演習 データベース論 情報社会特講Ⅳ 情報社会特講Ⅵ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会総合演習Ⅰ	4	◎ 情報社会総合演習Ⅱ	4
	計	30	計	30	計	4	計	4

【メディア文化専攻】

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	情報社会総合演習Ⅱ(再)	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の※印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照せよ。

(注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合がありますので注意すること。

3. <情報社会学科> 卒業要件一覧表

【平成30年度(2018)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	6単位	28単位	44単位
専門科目	22単位	—	58単位	80単位
合計	32単位	6単位	86単位	124単位

1. 《心理学科》 履修上の注意

平成 30 年度以降入学者向け

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないように留意すること。

心理学科は、ビジネス心理専攻と臨床心理専攻の二専攻制を採用している。臨床心理専攻は、公認心理師（国家資格）資格取得に必要なカリキュラムに対応している。平成 29 年度以前の入学者向けの授業科目名、配当年次とは異なっているものもあるので注意すること。

1. 卒業要件を満たすには、学部規程別表Ⅰ「心理学科授業科目表」に記載されている科目のうちから、4 年次終了までに、教養科目 44 単位以上、専門科目 80 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な単位の内訳については「卒業要件一覧表」を参照すること。
2. 履修は「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、自分の所属年次より下の年次に配当されている科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の総合研究演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1 年間に履修できる単位の上限は 48 単位である。3 年次に進級するためには、2 年次終了までに、卒業に必要な単位のうち 28 単位以上を修得しなければならない。4 年次に進級するためには、3 年次終了までに 76 単位以上を修得しなければならない。4 年間で卒業するためには、各年次に 36 単位程度を修得するよう、計画的に履修することが望ましい。
4. 教養科目について
教養科目については、広く深い見識を身につけることを目的として、多岐にわたる学問領域の科目が設定されている。必修科目に設定されている英語や情報系の科目は必ず配当年次に履修すること。
5. 心理専攻科目について
専門科目のうち「心理専門科目」については、その専門性により年次配当がなされている。また、専攻ごとに必修科目と選択必修科目とが設置されている。必修科目については、必ず配当年次に履修し単位を修得することが重要である。選択必修科目については、各専攻の指定科目のうち 10 科目以上の単位を修得しなければならない。
6. 演習・実験などの科目について
心理専門科目の必修科目として各年次に設定されている以下の科目は、心理学科における主要な科目である。授業の概要や進め方について第 1 回目の授業で詳しく説明されるので、必ず出席すること。
 - a) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ（1 年次）
心理学入門と位置づけられる演習科目であり、心理学科の複数の教員がそれぞれ異なる内容を指導する。学生は基礎演習のみに使用される少人数クラス（班と呼ぶ）に分けられる。各内容で使用する教室が固定されているので、毎回指定された教室に行くことになる。
 - b) 心理学実験・心理演習（2 年次）

心理学実験は心理学的な実験について、心理演習は心理検査やコミュニケーションについての知識や技法を実践的に学ぶ科目である。いずれも心理学科の複数の教員がそれぞれ異なる内容（種目と呼ぶ）を指導する。学生はこれらの科目のみに使用される少人数クラス（班と呼ぶ）に分けられる。各種目で使用する教室が固定されているので、毎回指定された教室に行くことになる。

c) 一般実験演習 I・II（3年次）

担当教員の指導のもとに専門的研究を行う科目である。一般実験演習は、基礎演習と心理学実験、心理演習の修得単位数について一定の基準を満たした者のみ履修できる。また、一般実験演習の担当教員は、2年次末に学生の希望を調査し、その結果に基づき学科で決定する。教員によって講義番号が異なるので、最終的に決定した担当教員の科目を履修すること。

d) 総合研究演習 I・II（4年次）

総合研究演習 I・II は週 2 コマの授業として行われる。この科目では、担当教員の指導のもとに、卒業研究、または卒業研究に相当する研究成果の報告書を作成する。通常 3 年次の一般実験演習から担当教員の変更はないので、一般実験演習と同じ教員の科目を履修すること。

7. 情報社会専門科目について

専門科目のうち「情報社会専門科目」については、20 単位までが卒業に必要な単位として認定される。情報社会専門科目の配当年次については、情報社会学科の授業科目配当表を参照すること。

8. 選択科目について

選択科目を選ぶにあたり、はじめから興味のある領域の科目のみにしぼってしまうのは、大学で学ぶうえで好ましいことではない。広い範囲の科目をバランスよく履修するよう心がけること。

9. 検定試験による単位認定について

検定試験による単位認定については「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を参照すること。

10. 認定心理士および認定心理士（心理調査）について

認定心理士および認定心理士（心理調査）の資格の取得を希望する者は、それぞれの単位認定基準に従い指定科目を履修する必要があるので注意すること。

11. 公認心理師指定科目について（臨床心理専攻）

公認心理師の資格取得を目指す臨床心理専攻の学生は、学部規程別表Ⅳ「公認心理師指定科目表」に記載されているすべての科目を履修しなければならない。なお、公認心理師資格試験の受験資格を取得するには、これらの科目の単位を学部在籍中に修得しなければならないため、十分に注意すること。

12. 心理実習 I・II（臨床心理専攻）

3 年次配当科目の心理実習は、臨床心理専攻の学生のみが履修できる。この科目では、心理臨床の仕事を理解するために、学内外の実習施設において、実習担当教員や施設の実習指導者のもとで現場体験を行う。この授業は通年で開講されるため、I・II のどちらか片方のみの履修はできない。履修希望者に対しては、それまでの授業態度や成績等を踏まえ、2 年次末までに履修の可否を学科で判定する。

2. <<心理学科>> 2019年度入学者用授業科目配当表
ビジネス心理専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 情報リテラシーⅠ	2	◎ 情報リテラシーⅡ	2	◎ 英語2	1	◎ 英語演習2	1
	◎ コンピュータ概論Ⅰ	2	◎ コンピュータ概論Ⅱ	2	TOEICⅠ	1	TOEICⅡ	1
	◎ ネットワーク・リテラシー	2	◎ マルチメディア・リテラシー	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2
	◎ 英語Ⅰ	1	◎ 英語演習Ⅰ	1	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2
	◎ 文化人類学	2	* コミュニケーション演習	1	脳と行動	2	社会学概論	2
	◎ 身近な物理	2	◎ 心理学入門	2	科学技術史	2	数学基礎	2
	◎ 宇宙の科学	2	◎ 哲学概論	2	日本国憲法	2	フランスの言語と文化	2
	◎ 法学概論	2	◎ 世界の宗教と歴史	2	人生と職業	2	中国の言語と文化	2
	◎ 福祉ビジネス論	2	◎ 経済学概論	2	インターンシップ	2	英語圏文化論	2
	◎ ボランティアの研究	2	◎ 経営学概論	2	会計学概論	2	メディア論	2
	◎ 音楽音響学概論	2	◎ 政治学概論	2	ドイツの言語と文化	2	簿記演習	2
	◎ 仏教精神Ⅰ	2	◎ 20世紀の世界史	2	芸術論	2	浄土教の歴史と文化	2
	◎ 自己理解の心理学	2	◎ グローバル社会と地誌	2	日本史概論	2	人体の構造と機能及び疾病	2
	◎ 地域学	2	◎ 化学と生活	2	東洋史概論	2	インターンシップ	2
	◎ 体育実技Ⅰ	1	◎ 生命の仕組み	2	◎ 西洋史概論	2		
	◎ ※ 日本語Ⅰ	2	◎ 教育と社会	2	◎ 総合情報演習	2		
	◎ ※ 日本語Ⅱ	2	◎ 仏教精神Ⅱ	2				
	◎ ※ 日本事情Ⅰ	2	◎ 体育実技Ⅱ	1				
	◎ ※ 異文化コミュニケーション(海外研修)	2	◎ ※ 日本語Ⅲ	2				
			◎ ※ 日本語Ⅳ	2				
		◎ ※ 日本事情Ⅱ	2					
	計	36	計	39	計	30	計	26
心理専門科目	◎ 心理学概論Ⅰ	2	◎ 心理学概論Ⅱ	2	◎ 心理学実験	2	◎ 心理演習	2
	◎ 基礎演習Ⅰ(学習法基礎)	2	◎ 基礎演習Ⅱ(課題演習)	2	◎ 心理学研究法基礎(心理学研究法Ⅰ)	2	◎ ビジネス心理学	2
	◎ 心理学統計法Ⅰ	2	◎ 心理学統計法Ⅱ	2	○ 認知心理学(知覚・認知心理学Ⅱ)	2	○ 心理調査概論	2
					◎ 発達心理学	2	◎ 言語心理学(学習・言語心理学Ⅱ)	2
					○ 教育心理学	2	○ 情報処理心理学	2
					◎ 臨床心理学(臨床心理学概論)	2	◎ 福祉心理学	2
					◎ 深層心理学	2	◎ 精神疾患とその治療	2
					◎ 学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	2	○ 社会心理学	2
					◎ 知覚心理学(知覚・認知心理学Ⅰ)	2	◎ 心理学と職業	2
					◎ 映像・音楽の総合表現と人間	2	◎ 関係行政論	2
					◎ 公認心理師の職務	2	◎ 現代社会と倫理	2
				◎ 現代社会と宗教	2			
	計	6	計	6	計	24	計	22
		42		45		54		48

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語 3 フランクフルト・イングリッシュ I	1	◎ 英語演習 3 フランクフルト・イングリッシュ II	1				
	ビジネス英語入門 キャリアと自立 働くことの科学と実践 I	1 2 2	英語記事・論文読解 働くことの科学と実践 II 現代社会理解 総合教養演習	1 2 2 2				
	計	7	計	9	計	0	計	0
専門科目	◎ 一般実験演習 I 人格心理学 (感情・人格心理学 II)	2	◎ 一般実験演習 II	2	◎ 総合研究演習 I	4	◎ 総合研究演習 II	4
	○ ビジネス心理原典講読 心理学的支援法 ○ 心理データ解析法 ○ 健康・医療心理学 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学) 神経・生理心理学 障害者・障害児心理学 ○ 企業組織における人間行動 心理的アセスメント I	2 2 2 2 2 2 2 2 2	○ 社会・集団・家族心理学 ○ 心理学研究法応用 (心理学研究法 II) ○ 消費者理解の心理学 ○ 交通心理学 ○ 産業心理学 (産業・組織心理学) 動機づけと情動 (感情・人格心理学 I) 学校臨床心理学 (教育・学校心理学) 心理的アセスメント II ○ コミュニケーション技法 哲学の源流	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
	計	22	計	22	計	4	計	4
	計	29	計	31	計	4	計	4

【ビジネス心理専攻】

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習 II (再)	4

(注記 1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記 2) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記 3) 必選欄の○印は、専攻別選択科目を示す(10科目選択)。

(注記 4) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記 5) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生が履修できる科目を示す。

(注記 6) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

(注記 7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

2. <心理学科> 2019年度入学者用授業科目配当表

臨床心理専攻

区 分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教養科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	◎ 英語 2	1	◎ 英語演習 2	1	
	◎ コンピュータ概論 I	2	◎ コンピュータ概論 II	2	◎ TOEIC I	1	◎ TOEIC II	1	
	◎ ネットワーク・リテラシー	2	◎ マルチメディア・リテラシー	2	◎ 仏教の歴史と思想	2	◎ スポーツ文化論	2	
	◎ 英語 1	1	◎ 英語演習 1	1	◎ ジェンダー論	2	◎ 20世紀の日本史	2	
	◎ 文化人類学	2	* ◎ コミュニケーション演習	1	◎ 脳と行動	2	◎ 社会学概論	2	
	◎ 身近な物理	2	◎ 心理学入門	2	◎ 科学技術史	2	◎ 数理基礎	2	
	◎ 宇宙の科学	2	◎ 哲学概論	2	◎ 日本国憲法	2	◎ フランスの言語と文化	2	
	◎ 法学概論	2	◎ 世界の宗教と歴史	2	◎ 人生と職業	2	◎ 中国の言語と文化	2	
	◎ 福祉ビジネス論	2	◎ 経済学概論	2	◎ インターンシップ	2	◎ 英語圏文化論	2	
	◎ ボランティアの研究	2	◎ 経営学概論	2	◎ 会計学概論	2	◎ メディア論	2	
	◎ 音楽音響学概論	2	◎ 政治学概論	2	◎ ドイツの言語と文化	2	◎ 簿記演習	2	
	◎ 仏教精神 I	2	◎ 20世紀の世界史	2	◎ 芸術論	2	◎ 浄土教の歴史と文化	2	
	◎ 自己理解の心理学	2	◎ グローバル社会と地誌	2	◎ 日本史概論	2	◎ ● 人体の構造と機能及び疾病	2	
	◎ 地域学	2	◎ 化学と生活	2	◎ 東洋史概論	2	◎ インターンシップ	2	
	◎ 体育実技 I	1	◎ 生命の仕組み	2	◎ 西洋史概論	2			
◎ 日本語 I	2	◎ 教育と社会	2	◎ 総合情報演習	2				
◎ 日本語 II	2	◎ 仏教精神 II	2						
◎ 日本事情 I	2	◎ 体育実技 II	1						
◎ 異文化コミュニケーション(海外研修)	2	◎ 日本語 III	2						
		◎ 日本語 IV	2						
		◎ 日本事情 II	2						
		◎ 計	36	◎ 計	39	◎ 計	30	◎ 計	26
専門科目	◎ ● 心理学概論 I	2	◎ ● 心理学概論 II	2	◎ ● 心理学実験	2	◎ ● 心理演習	2	
	◎ ● 基礎演習 I (学習法基礎)	2	◎ ● 基礎演習 II (課題演習)	2	◎ ● 心理学研究法基礎 (心理学研究法 I)	2	◎ ビジネス心理学	2	
	◎ ● 心理学統計法 I	2	◎ ● 心理学統計法 II	2	◎ ● 認知心理学 (知覚・認知心理学 II)	2	◎ 心理調査概論	2	
					◎ ● 発達心理学	2	◎ ● 言語心理学 (学習・言語心理学 II)	2	
					○ 教育心理学	2	◎ 情報処理心理学	2	
					◎ ● 臨床心理学 (臨床心理学概論)	2	○ ● 福祉心理学	2	
					◎ 深層心理学	2	○ ● 精神疾患とその治療	2	
					◎ ● 学習心理学 (学習・言語心理学 I)	2	◎ 社会心理学	2	
					◎ ● 知覚心理学 (知覚・認知心理学 I)	2	◎ 心理学と職業	2	
					◎ 映像・音楽の総合表現と人間	2	◎ ● 関係性政論	2	
				◎ ● 公認心理師の職責	2	◎ 現代社会と倫理	2		
				◎ 現代社会と宗教	2				
		◎ 計	6	◎ 計	6	◎ 計	24	◎ 計	22
		◎ 計	42	◎ 計	45	◎ 計	54	◎ 計	48

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語 3 ブタファイナル・イングリッシュⅠ	1	◎ 英語演習 3 ブタファイナル・イングリッシュⅡ	1				
	ビジネス英語入門 キャリアと自立 働くことの科学と実践Ⅰ	1 2 2	英語記事・論文読解 働くことの科学と実践Ⅱ 現代社会理解 総合教養演習	1 2 2 2				
	計	7	計	9	計	0	計	0
専門科目	◎ 一般実験演習Ⅰ	2	◎ 一般実験演習Ⅱ	2	◎ 総合研究演習Ⅰ	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4
	○ ● 人格心理学 (感情・人格心理学Ⅱ)	2	○ ● 社会・集団・家族心理学	2				
	ビジネス心理原典講読	2	◎ ● 心理学研究法応用 (心理学研究法Ⅱ)	2				
	○ ● 心理学的支援法	2	消費者理解の心理学	2				
	心理データ解析法	2	交通心理学	2				
	○ ● 健康・医療心理学	2	● 産業心理学 (産業・組織心理学)	2				
	○ ● 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学)	2	○ ● 動機づけと情動 (感情・人格心理学Ⅰ)	2				
	● 神経・生理心理学	2	○ ● 学校臨床心理学 (教育・学校心理学)	2				
	○ ● 障害者・障害児心理学 企業組織における人間行動	2 2	○ ● 心理的アセスメントⅡ コミュニケーション技法	2 2				
	○ ● 心理実習Ⅰ	1	○ ● 心理実習Ⅱ	1				
	○ ● 心理的アセスメントⅠ	2	哲学の源流	2				
	計	23	計	23	計	4	計	4
		30		32		4		4

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記2) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記3) 必選欄の○印は、専攻別選択科目を示す(10科目選択)。

(注記4) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記5) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生が履修できる科目を示す。

(注記6) ●印は、公認心理師指定科目を示す。

(注記7) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

(追記8) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習Ⅱ(再)	4

【臨床心理専攻】

3. ≪心理学科≫ 卒業要件一覧表

【平成30年度(2018)以降】入学者適用 (ビジネス心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	—	34単位	44単位
専門科目	32単位	20単位	28単位	80単位
合計	42単位	20単位	62単位	124単位

【平成30年度(2018)以降】入学者適用 (臨床心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	—	34単位	44単位
専門科目	34単位	20単位 ^{*注1} 19単位 ^{*注2} 18単位 ^{*注3}	26単位 ^{*注1} 27単位 ^{*注2} 28単位 ^{*注3}	80単位
合計	44単位	20単位 ^{*注1} 19単位 ^{*注2} 18単位 ^{*注3}	60単位 ^{*注1} 61単位 ^{*注2} 62単位 ^{*注3}	124単位

*注1 実習科目を履修しない場合

*注2 実習科目を1科目履修する場合

*注3 実習科目を2科目履修する場合